

平成12年度 再評価対象事業一覧

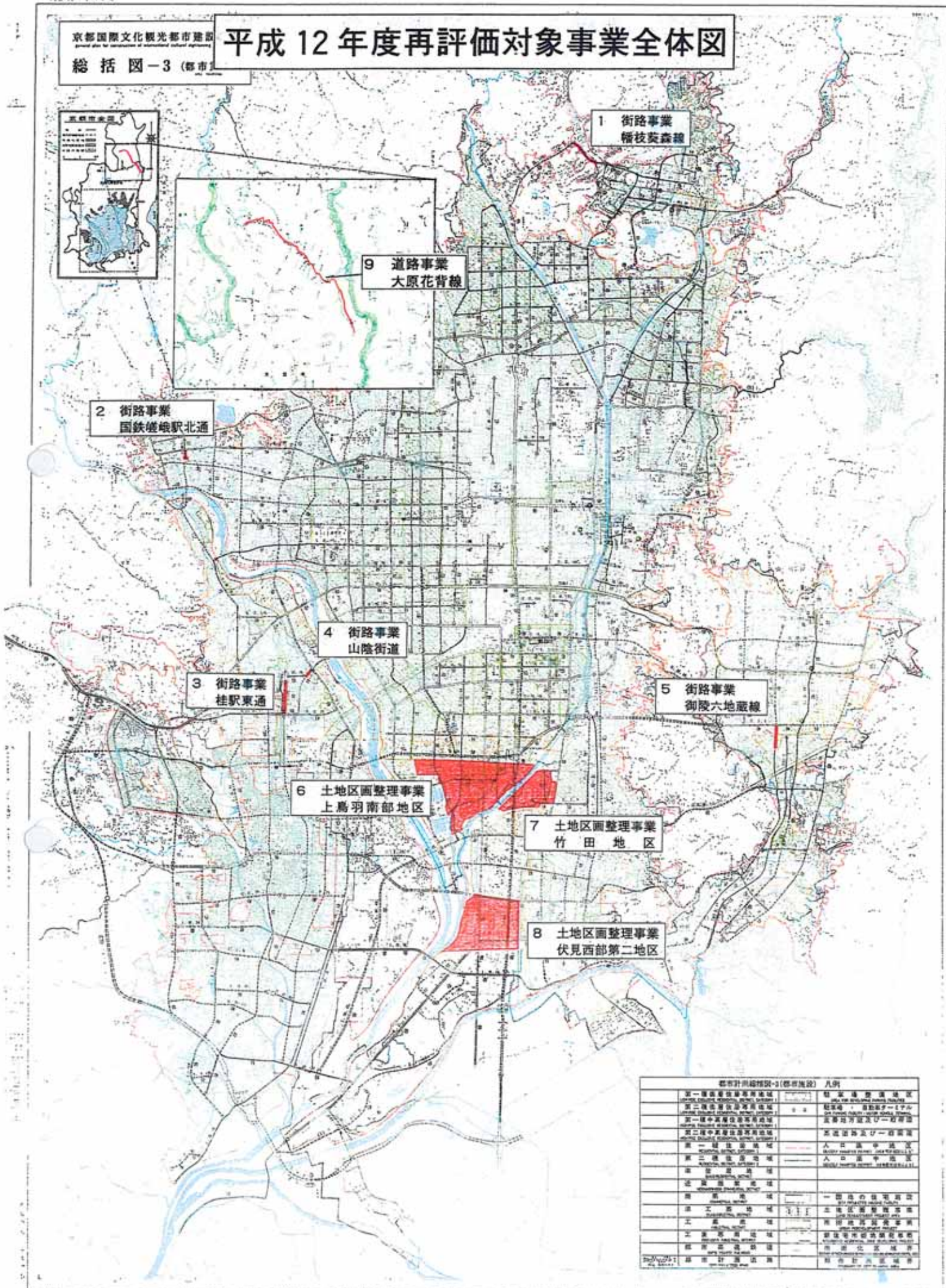
再評価対象事業の該当条件

- ① 事業採択後5年を経過した後も未着工の事業
- ② 事業採択後10年を経過した時点で継続中の事業
- ③ 事業の進捗状況や社会経済情勢の急激な変化による事業

京都市単独事業

種 別	番号	事 業 名	該当条件	対応方針
街路事業	1	幡枝葵森線	②	「事業継続」
	2	国鉄嵯峨駅北通	②	「事業継続」
	3	桂駅東通	②	「事業継続」
	4	山陰街道	②	「事業継続」
	5	御陵六地藏線	②	「事業継続」
土地区画整理事業	6	上烏羽南部地区	②	「事業継続」
	7	竹田地区	②	「事業継続」
	8	伏見西部第二地区	②	「事業継続」
道路事業	9	大原花背線	③	「事業継続」

平成 12 年度再評価対象事業全体図



都市計画総括図-3 (都市施設) 凡例	
第一種市街地再開発区域 (First Urban Regeneration Area)	特定用途地域 (Special Use District)
第二種市街地再開発区域 (Second Urban Regeneration Area)	住宅地 (Residential District)
第一種市街地再開発区域 (First Urban Regeneration Area)	商業地 (Commercial District)
第二種市街地再開発区域 (Second Urban Regeneration Area)	工業地 (Industrial District)
第一種市街地再開発区域 (First Urban Regeneration Area)	公共用地 (Public Use District)
第二種市街地再開発区域 (Second Urban Regeneration Area)	公園地 (Park District)
第一種市街地再開発区域 (First Urban Regeneration Area)	緑地 (Green Space)
第二種市街地再開発区域 (Second Urban Regeneration Area)	水辺地 (Waterfront District)
第一種市街地再開発区域 (First Urban Regeneration Area)	農用地 (Agricultural District)
第二種市街地再開発区域 (Second Urban Regeneration Area)	森林地 (Forest District)
第一種市街地再開発区域 (First Urban Regeneration Area)	自然公園地 (Natural Park District)
第二種市街地再開発区域 (Second Urban Regeneration Area)	文化施設地 (Cultural Facility District)
第一種市街地再開発区域 (First Urban Regeneration Area)	スポーツ施設地 (Sports Facility District)
第二種市街地再開発区域 (Second Urban Regeneration Area)	その他 (Others)

平成12年度再評価事業フォローアップ調査

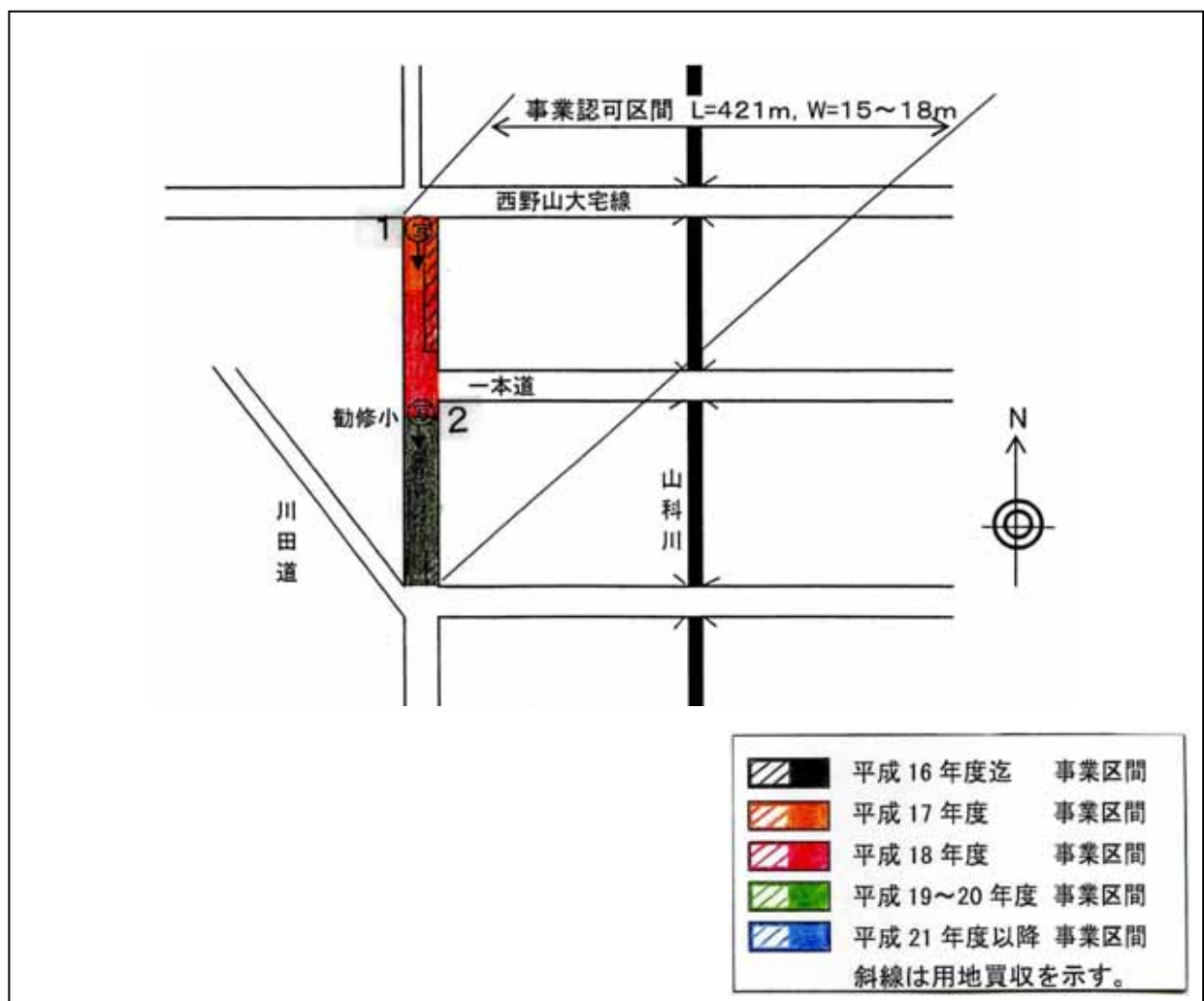
(平成18年3月末)

事業名	街路事業 御陵六地藏線（第二工区）		事業所管課	建設局街路部街路建設課	
事業区間	自：京都市山科区東野舞台町 至：京都市山科区勧修寺東栗栖野町		延長及び幅員	延長： 421m 幅員：15～18m	
事業採択年度	平成3年度	完成予定年度	当初：平成 7年度 変更：平成17年度（事業認可最終施行年度）		
事業進捗					
年度	全体事業	平成16年度以前	平成17年度	平成18年度	平成19年度以降
工事	L= 421 m C= 204 百万円	L= 239 m C= 116 百万円	L= 182 m C= 88 百万円	L= 0 m C= 0 百万円	L= 0 m C= 0 百万円
用地	A= 2,844 m ² C= 1,319 百万円	A= 2,844 m ² C= 1,319 百万円	A= 0 m ² C= 0 百万円	A= 0 m ² C= 0 百万円	A= 0 m ² C= 0 百万円
その他	C= 192 百万円	C= 189 百万円	C= 3 百万円	C= 0 百万円	C= 0 百万円
計	C= 1,715 百万円	C= 1,624 百万円	C= 91 百万円	C= 0 百万円	C= 0 百万円
進捗率		94.7%	100%	100%	100%
平成12年度再評価時点での課題，問題点 用地買収の交渉が難航している。 m					
平成17年度 of 取組 埋蔵文化財発掘調査を終えた後，引き続き道路改築工事及び企業者工事を施工し，平成17年8月9日に供用開始した。					
平成18年度以降 of 取組 当面の目標 特記事項はない。 事業効果 山科地域と小栗栖地域とを結ぶ南北幹線道路である本路線のうち未整備区間である当該区間を整備することにより，安全で円滑な道路交通を確保するとともに，歩道の整備により，歩行者等の安全確保を図る。					

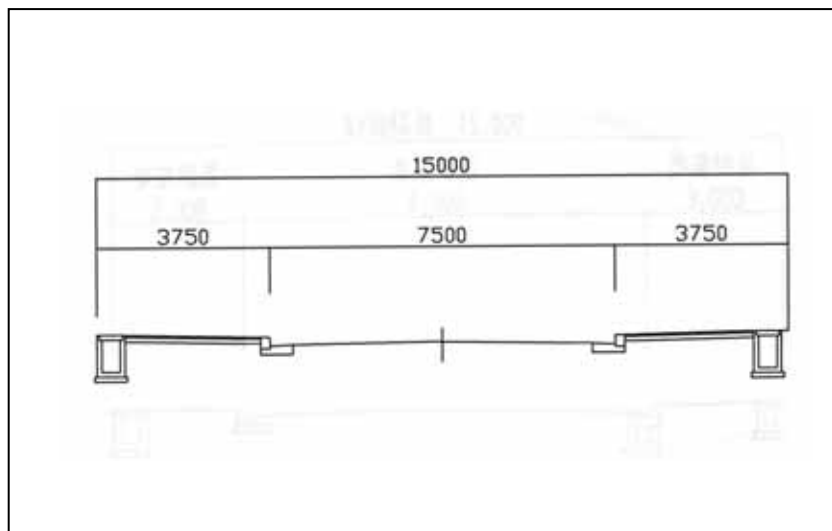
[箇所図]



[模式図]



[事業概要]



[写真] 1



2

